

法学 -裁判の新聞記事を読む前に-

単位数	ナンバリングコード	
2	DBA206	
	教員名	関根 洋
	専門	法学、民事法、商法・有価証券
	出身校等	北海道大学 大学院 法学研究科 博士課程単位取得中退
	現職	北海道情報大学 経営情報学部 講師
授業形態		
前期印刷授業・後期印刷授業		
授業範囲	試験範囲	
教科書第6章・第7章	授業範囲の内容すべて	
	【試験時参照許可物】 一切自由 ※ただしWebページ（通信教育部POLITEを除く） と生成系AIの参照は不可とする。	
科目の概要		
使用する教科書の「法学概論」に相当する箇所を対象とします。取扱われている項目は多岐にわたり、初歩的な問題のみならず、新しくかつ高度な問題も一部に取扱われていますが（平易に書かれているので大丈夫です）、大学教育としてはまさにそこが「頑張りどころ」であるとも言えます。		
授業における学修の到達目標		
民法・商法の履修に際して前提となる、法律学に関する基礎的な知識を習得すること。		
講義の方針・計画		
教科書は大変判り易く書かれており、学習用プリントの必要もないくらいですが、ともかく教科書を丁寧に読んで正確に理解して下さい。その際、必ず六法を傍らに置いて、引用されている条文（例えば「民法〇〇条によれば.....」など）にも併せて目を通すようにして下さい。判らない用語を調べるために、『法律学小辞典』（有斐閣）を手許に備えることが理想的ですが（憲法、民法、商法等の法学関連科目にも間違いなく役立ちます）、そうできなくても、「要すれば最寄りの図書館等で随時調べる」ことを心掛けて下さい。		
第1回：紛争と法(教科書 第6章 1)		
第2回：裁判のしくみ(第6章 2)		
第3回：紛争解決方法のいろいろ(第6章 3)		
第4回：一般法と特別法(第7章 1)		
第5回：判例法(第7章 2)		
第6回：法の解釈(第7章 3)		
第7回：公法と私法(第7章 4)		
第8回：民事責任と刑事責任(第7章 5)		
第9回：憲法と私たちの生活(第7章 6)		
第10回：自己決定権・プライバシー権・個人情報の保護(第7章 7・8・9)		
第11回：男女の平等(第7章 10)		
第12回：生存権の保障(第7章 11)		

講義の方針・計画
第13回：裁判を受ける権利(第7章 12) 第14回：外国人と人権(第7章 13) 第15回：コンピューター社会と法(第7章 14)
準備学習
印刷授業は、教科書や学習用プリントなどを基に自学自習で学習を進めますが、授業範囲の内容の他に、教科書の内容全体を2単位で90時間かけて学習することを目安としています。 わからない用語や内容は、参考文献等で検索することが準備学習として必要になります。 印刷授業以外の授業形態において、以下の準備学習を行う。 (予習) 聴講前に、教科書の該当箇所を目を通してください。 (復習) 聴講後に、教科書の該当箇所を読んで、確認してください。
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック方法
印刷授業は、提出されたレポートについて講評を付与して返却する。
成績評価の方法およびその基準
科目試験による評価100%
教科書
書名：法の世界へ(第9版) 著者名：池田真朗ほか 発行所：有斐閣 ISBN：9784641222120 書名：ポケット六法(令和6年版) 発行所：有斐閣 ISBN：9784641009240
参考書
なし
その他
「民法入門」, 「商法」の履修を予定している諸君は、この科目を履修することを希望します。
試験期間
シラバス検索画面トップページ (https://syllabus-tsushin.do-johodai.ac.jp/) 下部の「2024学年暦」を参照
学習プリント
あり
教職科目
商業5の1(選択)
関連受講科目
「民法入門」, 「商法」
担当教員の実務経験
実務経験なし